

2.3.2 文章中に図を入れる

第 1.1 節 (3 ページ) の表 1.1 のような表を文章中に挿入する場合、例題 10-2 のようなファイルを作ります。やり方は、前述の表の入れ方とほとんど同じです。表と図では、キャプションを付ける位置が異なることに注意してください。

ここでは、別のアプリケーションで作成した図をあとから張り込む方法を使っています³。

例題 10-2

(入力)

```
%\test10-2
\documentclass{jarticle}
\begin{document}
\TeX では、ワープロのような処理方式を採らず、入力については別のエディター（文書入力ソフト）を用います。図\ref{流れ図} に\TeX 処理の流れを示します。

\begin{figure}[h] ← ここに図を挿入する命令
\vspace*{10cm}← 図を張り込むスペースを空白として空ける
\caption[\TeX 処理の流れ]{濃い網掛部分が、人間の行う作業にあたります}← 図のキャプション
\label{流れ図}← 図のラベル。これを参考にして文章の中で番号の参照が行われる。
\end{figure}
```

図\ref{流れ図} をみるとお分かりのように、まず出来上がりは関係なく文書を打ち込む作業を済ませてから、印刷状態のことを考えていくような流れになります。

```
\end{document}
```

³他に、ps ファイルなどの画像ファイルを指定して読み込む方法もあります。このやり方は、ホームページなどで画像を読み込むやり方に似ています。方法については、参考文献を参照してください。